

## 0-10

### タヒボ *Tabebuia averaneda* に由来する抗炎症成分

#### Anti-inflammatory Constituents from *Tabebuia avellaneda*

○太田 富久、索 茂栄、辰野 貴則、長谷川 功、加藤 光、高野 文英

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

We have found the extract and five compounds from *Tabebuia averaneda* (Taheebo) are responsible for cell proliferation and anti-inflammatory effect on human keratinocyte.

#### 【目的】

タヒボ (Taheebo) は南米産高木、タバブイア・アベラネダエの内部樹皮で、長年民間薬として用いられてきた。本研究においては皮膚細胞に対するタヒボの効果を検証する目的で、ヒト上皮角化細胞の増殖促進作用及び抗炎症作用を評価・解析した。

#### 【方法】

ヒト上皮角化細胞を培養後 24 時間目にタヒボエキスを添加し、更に 48 時間後に生存率と炎症関連サイトカイン IL-8 の産生量を測定した。一方、RBL-2H3 細胞に試料を加えて 15 分インキュベーション後、 $\beta$ -ヘキソサミニダーズの基質(*p*-nitrophenyl-*N*-acetyl- $\beta$ -D-glucosaminide)を加えて 1 時間インキュベーションし、 $\beta$ -ヘキソサミニダーズの放出量を測定した。

#### 【結果】

タヒボエキスは PMA 添加の有無にかかわらず、IL-8 の産生量を抑制する一方、ヒト上皮角化細胞の増殖を促進した。さらに、タヒボエキスからは 5 種類の抗炎症活性成分を単離し、そのうち 4 種が RBL-2H3 細胞において  $\beta$ -ヘキソサミニダーズの分泌を抑制した。